



カンタン! おいしい!  
イカパスタ

### 材料

(2人分)

#### 〈パスタソース〉

- ・イカ …… 250g
- ・トマトソース …… 1/2 ピン
- ・ニンニク …… 1片
- ・オリーブオイル …… 大さじ 1

#### 〈パスタ〉

- ・パスタ …… 200g
- ・水 …… 鍋いっぱい
- ・オリーブオイル …… 少々
- ・塩胡椒 …… 好み
- ・パルメザンチーズ …… 好み

主に使うのはこれ!



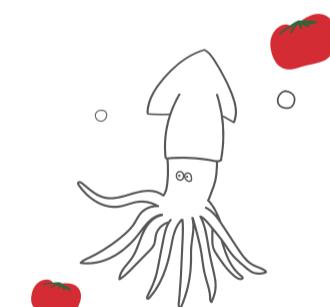
### 作り方

- ① イカの胴部からヒレにかけてハサミで切り込みを入れ、外とう膜から内臓を取り除く。さらに目の下の足の部分も切り離す。  
(外とう膜と足の部分を使うよ)
- ② ①のイカは墨の色がなくなるまで水で流す。
- ③ 鍋にオリーブオイル、みじん切りにしたニンニクを入れ全体に油が馴染んだら②でゆいだイカを入れ蓋をして中火で3分ほど待つ。
- ④ もう一つの鍋でお湯を沸騰させ、オリーブオイルを少々入れる。そこにお好みのパスタを入れ、茹で上がるまで待つ。  
(アルデンテも忘れずに！)
- ⑤ ③のイカの色が白っぽく変化してきたらトマトソースを入れる。もう一度蓋をしてトマトソースによく火が通ったら完成。茹で上がったパスタにイカソースをかけてお好みで塩胡椒やパルメザンチーズをかけてね。

さばき方の3 steps



イカパスタが出来上がる  
までの動画もあるよ！



### 若者たちのみはまデイズ 編集後記



編集長: 佐藤 亜美佳



エルゲダ・ウォード・アルパ  
日本福祉大学 インターン生

「知らないだけで暮らしを楽る楽しみ方は無限大なはず」今回のLifestyle特集のキャッチコピーであるこの一言。実は編集長である私自身にも言えることでした。本誌の制作の中で、たくさん美浜町での楽しみ方を見つけました。若者らしい美浜町での暮らしを皆様もぜひ探してみてくださいね。

美浜町の取材を通して、地図に載っていないような実際に行かないところなど、わからぬ町の良さを沢山見つけることができ、より美浜を知りたいと感じました。皆様もぜひ、みはまワールドをガイドにし、ご自身にとっての美浜町の魅力を探してみてください。地元愛と自然に溢れるこの町だからこそ素敵なお経験ができると思いますよ！

この度は大好きな美浜町の魅力を伝えることができる「みはまデイズ」に参加でき大変光栄でした。今まで知らなかった美浜町の魅力について知ることができ、私たち自身も美浜町を冒險しているようで楽しかったです。皆様にもこの魅力が伝われば幸いです。

### 若者 編集スタッフ 募集!!

「若者たちのみはまデイズ」の制作に興味のある若者を募集しています！ 気になった方はこちらのお問い合わせへ



#### みはまデイズ vol.9

今号は美浜町の豊かな自然と共に暮らし、楽しむ方法を伝える特集号です。大人も子どもも、五感を使って遊び、学び、成長するためのワールドがここにあります。



mihamadays.com



掲載情報については、2022年3月時点のものです。  
本冊子の記事及び写真などの無断複写・転載を禁じます。  
制作: 若者たちのみはまデイズ編集部  
協力: 株式会社エヌ・エフ・ユー / 愛知県美浜町

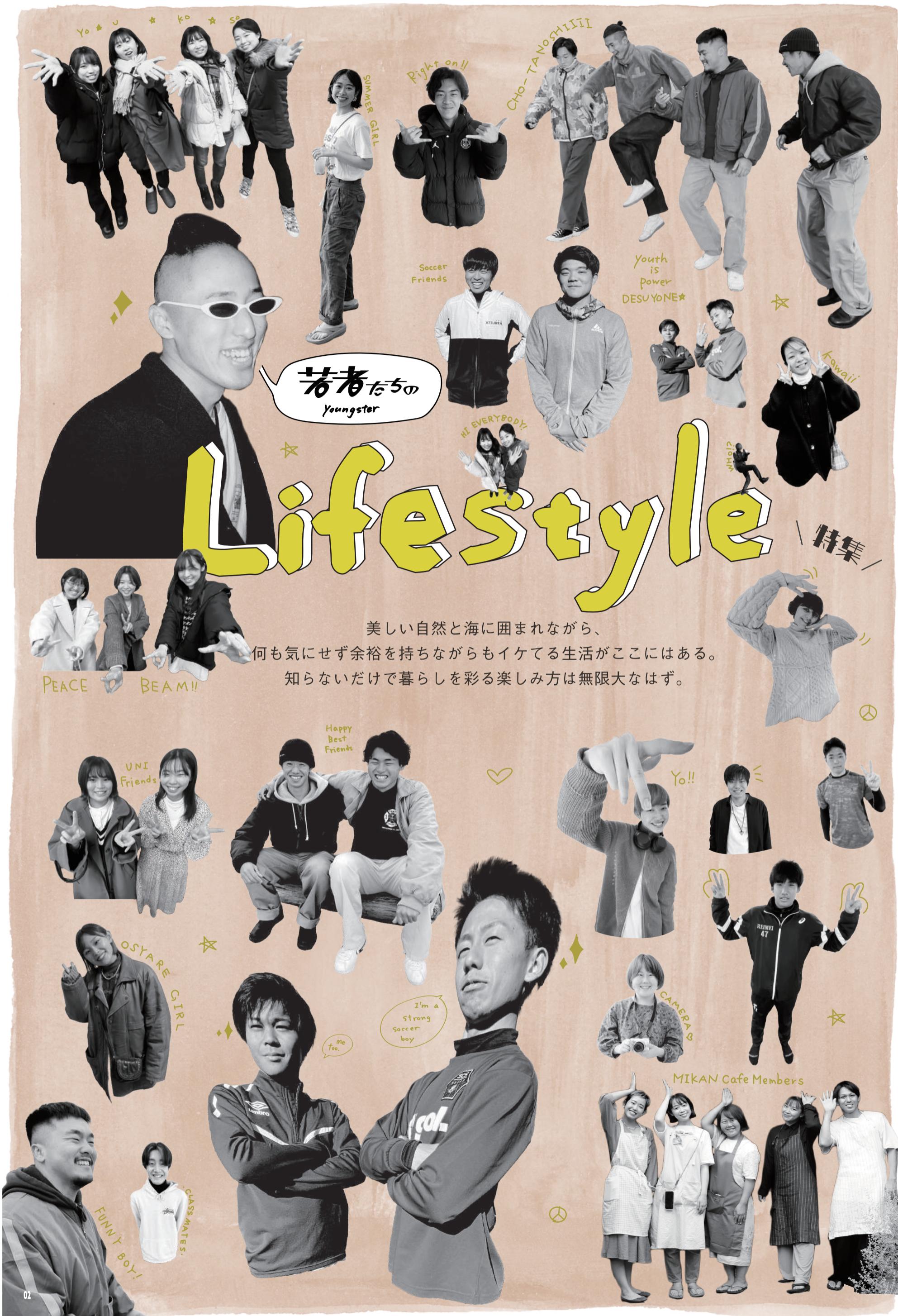


#僕らのみはまデイズ



自分らしく過ごせるエモい町。





若者たちは時々、華やかな都会の雰囲気に憧れがあるんだ。実際、都会に出来れば欲しいものはなんだって揃えられるもんね。だけど、華やかな都会ではみんなが忙しく動いて、競争して、ずっと自分のスイッチをオンにしたままなんじゃないかな。時にはそういうことに疲れてしまう事もある。そんな時には、美浜のたくさんの自然を感じてみて欲しい。美浜の人達はどこか余裕を持った暮らしをしていて、流れる時間もゆっくりなんだ。そんなゆっくりと“オフ”を充実させることができるのは自然豊かな美浜だからこそできること。



# No Stress LIFE

余裕のある生活の中で好きなことを

2021年6月上旬、「私来週仕事辞めるんだ」という割とヘビーな言葉を夕日が沈むの眺め、あまのカレーを食べている時にさらりと言われたことを今でも覚えている。「これからは自由人だ!」その言葉の通りそれから彼女は心の赴くまま自然とともに暮らしている。そんな彼女の様にとらわれない生活を覗いてみよう。

**自然とともに暮らす、自由な生活。**

仕事をやめてからの彼女はゲストハウスでのお手伝いや日々旅に出ながら、ここ美浜では自然の色を楽しむことを生活の中心にしているみたい。海の前でおにぎりを食べたり、夕日を見ながら自身で作ったチャイを飲んだり。「シンプルでスローペースな生活がここ美浜ではできる。だから若者ならではの悩みだって忙しさだって忘れられるの。」そんな彼女の言葉を聞くと自然と海の夕日を眺めなくなってしまうし、自由でありたいと思ってしまった。

**彼女が伝えたい美浜の美しさとは。**

自由なライフスタイルの中で絵を描くことも好きな彼女は、絵も美浜の美しさを表現している。ただやっているわけじゃないんだ。かが美浜に来るきっかけになれる住んでいる人にもこの美しさをいたい」そんな思いを持ってるよな。彼女は「こうして自然とらしができているのは周り

**繋がりがあるから**

この大自然の中おおらかな人がいね。一人の力で協力達成でるようにはたくさんいるんだと思うんだ。だけど、美浜の海や夕日のどこにそんなに惚れてるのだろうか、その疑問を投げかけてみると答えはすぐに返ってきた。「海の前の空たちが見せてくれるやさしい色が好き。美浜の海には夕日を邪魔するものは何もなくて世界が開けているから時間の移り変わりを最後まで楽しむことができるし、砂浜が遠浅で晴れの日が多いの。」そうやって彼女はみんなが忘却する美浜の良さを教えてくれるんだ。

**あまのかー**

美味しい食材とスパイスが効いた絶品カレー!!

**Profile**  
天野歩未乃  
旅人。  
24歳。長野県出身。気の向くまごこれまで国内外多くの場所を旅してきた。現在、美浜町をアートとみかんの溢れる町にすべく奮闘中。

**美浜町暮らし、お金の話。**

家賃	n=16	食費	n=16
平均 3.8万円 最低:2.4万円	平均 1.9万円 最低:1万円		
光熱費 n=16	仕送り n=6		
平均 8600円 最低:6000円	平均 6.2万円 貰っていない人は10人		

ご近所付き合いはお得!?

ごはんを多めに作ってしまった時はご近所さんにおけたり、逆にもらったり、シェアすることで食費も浮くし、楽しい食事ができます!

美浜町、なんとかなるもん!  
ほんとにお金がない月は食費を8000円に抑えたことがあります。美味しいもの我慢するのは辛かったけど案外いけるもんなんだって思いました。

# Sports LIFE

サッカーボーイの日常

西塚佳太  
**Profile**  
日本福祉大学スポーツ科学部1部サッカーチーム2022年度キャプテン。  
20歳。東京都出身。両親からラグビーをさせる前段階としてサッカーを始めさせてもサッカーにハマリ。

くさい事うならサッカーは今ではもう人生の一部です。」なんて小さくてもカッコいい言葉が似合ってしまう彼は、東京から来た西塚佳太さん。そんなサッカーボーイはここ美浜でどんな生活をしているのだろうか。

澄んだ空気の中でするサッカーは最高に楽しい。

「めちゃめちゃ田舎だし、東京の方が暮らしやすいじゃん」これは彼が初めて美浜に来た時の感想。たしかに東京って日本の首都だし、なんでも揃ってる。だけど、今は美浜での暮らしについてどう思っているのか尋ねるとサッカーボーイらしい答えが返ってきた。「都会の中より美浜でやるサッカーの方が気持ちがいいから楽しいんです。」部活の練習中、懸命にゴールを死守していた彼の姿から、美浜に来てから2年間ですっかり美浜の暮らしに馴染み、サッカーを楽しんでいることが伝わってきた。「コロナが流行る前はサッカーチームが主催して地域の子どもたちにサッカーを教えるイベントがあったらしいんですけど、僕たちが入学してからなくなってしまったので美浜の子どもたちにサッカーを教えてみたいです。」彼が美浜に来るのはちょうどコロナの感染が拡大し始めた頃。色々な制限がある中でも学生と町民が交流できる場が増えればいいよな。

お腹と心を満たす食事。

世の中の大人たちは大学生のうちは時間がいっぱいあるんだからって言うけど部活に学校の勉強にバイトと彼らの毎日は大忙し。「料理したり、たまに学校終わりに友達とご飯行ったりするのが楽しいです。自炊するときは、鶏肉の野菜炒めが栄養バランスもいいのでよく作りますね。忙しい毎日の中でも食べるこって、心と体にとても重要なやつだな。美浜町の中でも学生人気でスタミナたっぷりな料理を提供してくれる「モンキー」ではご飯がおかわり自由だからお腹も心もいっぱいになれる。

西塚佳太  
**Profile**  
日本福祉大学スポーツ科学部1部サッカーチーム2022年度キャプテン。  
20歳。東京都出身。両親からラグビーをさせる前段階としてサッカーを始めさせてもサッカーにハマリ。

Keita's soccer shoes

海辺で話している時に美浜の好きなところは聞くと彼は両手を大きく広げて一言「これです。」と言ったんだ。その前に広がるのはオレンジ色に染まる空と海。「部活が終わって疲れた時とか癒されたい時とかによく海に来ます。少し黄昏たり歩いたりするとなんだか頑張ろうって思えるんです。」初めて美浜の海を見た時はとても感動したらしい。都会では見れないその感動に彼も癒されているんだな。「海辺では大きな声を出してもあまり周りの迷惑にならないから友達とはしゃいだりもします。たまに海にも入っちゃったり(笑)」この日も彼らは大好きな古着を着こなして、夕日の前で無邪気に楽しんでいた。エモいってつまりこうのことだよな。

Friends forever?

西塚佳太  
**Profile**  
日本福祉大学スポーツ科学部1部サッカーチーム2022年度キャプテン。  
20歳。東京都出身。両親からラグビーをさせる前段階としてサッカーを始めさせてもサッカーにハマリ。

**SOCER BOY**

